土浦市職員の懲戒処分の基準は

勝田　煦　議員

〈質問〉

人事院では、職員の懲戒処分の指針を各省庁及び各外局に対して通知している。本指針には、それぞれの事例における標準的な処分量定が掲げられている。標準例に掲げていない非違行為についても、標準例を参考としつつ判断するものとしている。土浦市でもこの人事院の懲戒処分の指針に基づいた、職員懲戒処分等の基準を定めるべきだと思うが、考えを伺う。

〈総務部長〉

交通事故等については具体的に基準を定めており、先月の酒気帯び運転による交通事故の処分についても、この基準に照らして行ったものである。交通事故等以外の服務違反については、一概に基準を定めることは難しい状況にあることから、それぞれの事案について、過去の処分例や人事院の処分基準なども参考にしながら、分限懲戒等審査委員会で慎重に審査した上で厳正な処分を行っているところである。

（掲載以外の質問事項）

一　新運動公園について

三　土浦市の入札について

エアシップタウン構想の実現に向けた取組みは

小林　幸子　議員

〈質問〉

飛行船は環境負荷が最も少なく、安全で夢のある新世紀の乗り物である。そして飛行船ツェッペリン伯号の飛来地という輝かしい歴史を持つ我が土浦こそ飛行船基地として最適地ではないか。土浦市でエアシップタウン、飛行船のまちが誕生したなら、世界で三カ所目、アジア唯一の飛行船のまちになる。実現へ向けての総合政策としての本市の取組みについて伺う。

〈市長〉

飛行船基地建設の実現に向けた総合政策としての市の取組みについては、新茨城県総合計画における県南ゾーンの施策展開の方向の中で、飛行船などを生かした霞ヶ浦周辺地域における交流空間づくりが位置付けられたことを機に、本市においても引き続き、飛行船を活用した地域づくりについての研究を進め、第七次土浦市総合計画に位置付けするべく検討してまいりたいと考えている。

（掲載以外の質問事項）

二　二〇〇七年問題と壮年対策について

三　ＮＰＯやボランティア支援への本市としての取組み姿勢について

四　小山崎・岩瀬家周辺の農業振興活用方策について

五　勤務評価の考え方について

国民健康保険税の減免基準の策定について

久松　猛　議員

〈質問〉

国分寺市や平塚市など少なくない自治体で、国民健康保険税の独自の減免基準を策定している。さらに行政手続条例第五条において、行政庁は申請により求められた許認可に関し、出来る限り具体的な審査基準を定めるものとされている。行政手続条例を遵守しようとすれば、国民健康保険税条例第十八条に基づく減免申請を認めるかどうかを判断する基準、すなわち減免基準を策定することが必要である。執行部の見解を伺う。

〈保健福祉部長〉

国民健康保険税の減免については、所得の低い方に対しては減額賦課制度により対応している。また、行政手続条例第五条の審査基準の設定については、審査基準の中で個々の判断が必要なため、法令の基準以上の基準設定が困難な時は定めなくても良いという解釈もされていることから、国保税の減免にあっても、画一的な基準ではなく、個々の納税義務者の担税能力に照らして、収入、資産、生活状況などすべてのものを総合的に判断して決定してまいりたいと考えている。

（掲載以外の質問事項）

二　タクシー協同組合等の進める「デマンド型福祉交通（乗合タクシー）」について

三　集会・会議施設等の使用規定について

四　小中学校教室の暑さ対策について

五　平成十九年度以降のランドセル無償配布について

定例会の詳細につきましては下記施設にあります会議録を御覧ください。

図書館	
南支所	
上大津支所	
都和支所	
中央出張所	
神立出張所	
都和公民館	
一中地区公民館	
二中地区公民館	
三中地区公民館	
四中地区公民館	
上大津公民館	
六中地区公民館	
新治地区公民館	

次回の定例会日程は、9月5日～20日（一般質問　11日・12日・13日）の予定です。